



シニア
CO-OP
わかやま

北東西南 (NEWS)

人生の完成期、輝いて生きる！

発行所 和歌山高齢者生活協同組合

住所 和歌山市中之島782

TEL (073)432-7577

ホームページ [和歌山 高齢協](#)

[検索](#)

生活強化月間
特集号

組合員数 3,720名 (2015年8月31日現在)

和歌山高齢者生活協同組合を 私たちの願いを実現できる組織へ

和歌山高齢者生活協同組合は、1999年に創立しました。創立以来、ヘルパー講座を開催し介護に関わる人材を養成し、県内各地で事業所の開設を進め、組合員や地域の方の介護を支援できる体制を整えてきました。また、営繕事業など高齢者が働き地域貢献に取り組む場や、旅行や登山、パソコンなど生きがいの場も広がってきました。こうした発展は、組合員の皆さんやスタッフの努力で切り拓かれてきました。

今、組合員を増やそう、和歌山高齢協を大きく強くしようと呼びかけています。

困難とされていた和歌山市のサービス付き高齢者向け住宅と地域支え合いセンターの建設が実現しました。これには多くの組合員の皆さんのご協力がありました。和歌山高齢協が大きくなることによって私たちの願いを実現する力が増えています。今は3,720人ですが、4,000人、10,000人となることによって違う場面を描くことができます。和歌山高齢協のパワーは組合員の皆さんとのつながりによって変わってきます。

戦争への不安、生活、医療、介護、農業、教育など、私たちを取り巻く状況が詳しく知らされない中で、危機的になってきています。社会が不安定になっているときに、『ひとりはお互いのために みんなはひとりのために！』と組織された協同組合が、私たちの生活を守り、平和を守るものとして活動してきたことは歴史をみても明らかです。和歌山県生活協同組合連合会に加盟している協同組合に加入する人たちが25万人います。この人たちがお互いにつながればもっと大きな場面が描けると思います。

今、私たちの願いを実現するために、多くの人と手をつなぎ助け合っていくことが求められています。私たちはその手段として和歌山高齢者生活協同組合をもっています。ぜひとも和歌山高齢者生活協同組合の仲間を増やし、県内各地で、「人生の完成期を輝いて生きる！」という私たちの願いを実現するために、力を発揮していただけるようお願いいたします。(和歌山高齢者生活協同組合 理事長 田中 秀樹)

組合員の方で「お互いさまのたすけあいの地域」づくりを!

和歌山県の高齢化の状況は、平成26年1月1日現在で、65歳以上の高齢者の人口は289、076人、高齢化率28.6%となっており、全国で5位、近畿で1位になっています。市町村で高齢化率をみると、県内1位は古座川町、次いで北山村、すさみ町となり、高齢化率の低い市町村は岩出市、上富田町、橋本市の順で低くなっています。この中で、「一人暮らし」の高齢者は58、739人、65歳以上の高齢者の20.3%、要支援・要介護認定を受けている人は、65歳以上高齢者の21.9%を占めるに至っています。

世間でいろいろ取りざたされている「高齢化」の和歌山県の状況は、このように、順調に?伸びています。これから、団塊の世代が後期高齢者(75歳以上)にいたる2025年に向けて、さらに高齢化が進むことが予測され、要介護認定者の数が増えていきます。介護保険制度の財政状況も厳しくなり、介護保険料も年々高

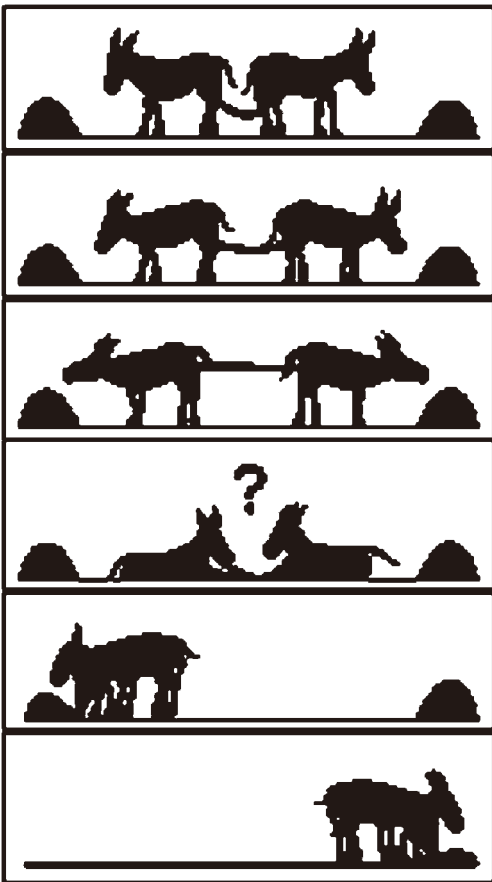
くなり、9、000円を超える見込みも出されています。

そんな中、住み慣れた地域で、安心して暮らしていくために、さまざまな工夫が必要になってきます。高齢化する中で、今までできていたことがだんだんできにくくなり、できなくなってしまう。さまざまな病気や怪我で、気軽に散歩することができなくなってしまう。一人暮らしになって、何かあった時に、だれが助けてくれるのだろうか?などなど、不便なことや心配なことは、年を重ねるにつれて増えてきます。これらの不便や心配事を解決する工夫を、早い目から準備しておくことが、大切です。

この対策・工夫の中で、最大の武

器になるのは、「お互いさまのたすけあい」ができる人間関係ではないでしょうか。お友達やお隣さん、ご近所さんとの関係で、何か困ったことが出たときに、「遠慮せず」、「できないことをお互いに補い合う」ことができるだけで、どれほど安心することができるでしょうか。

介護保険制度が、今年の4月に改定され、これまで介護保険の給付を受けることができた「要支援1・2」の方たちへのサービスが、市町村が行う「総合事業」

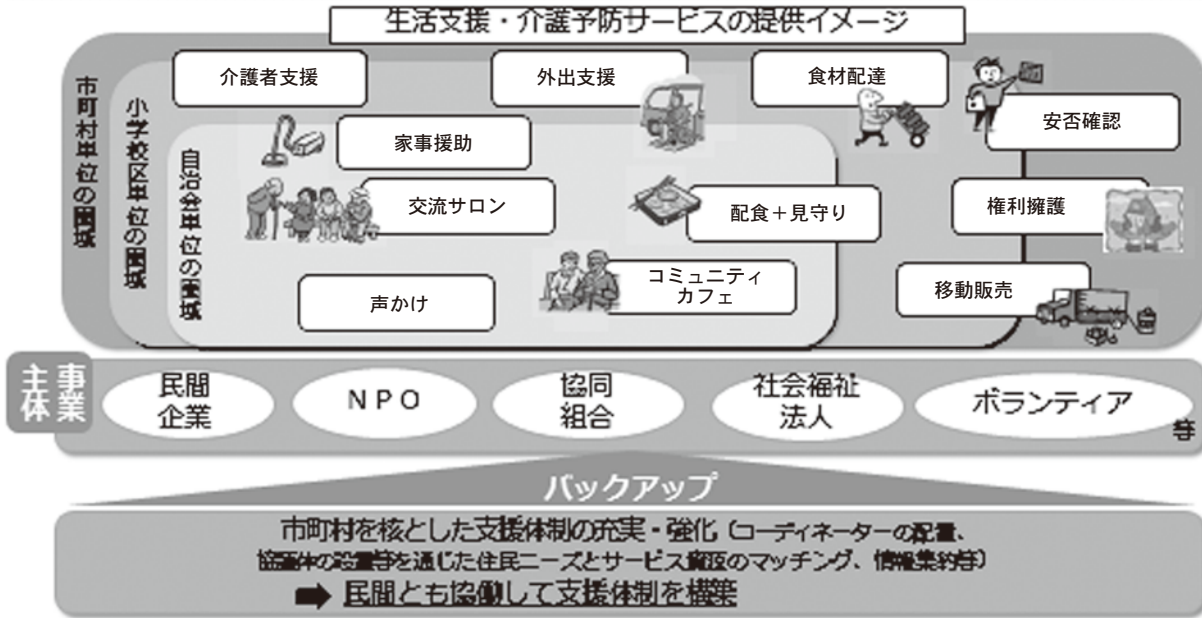


首を繋がれた2匹のロバが、左右に置かれた餌を食べようとしています。互いに協力することで餌を食べることができました。

多様な主体による生活支援・介護予防サービスの重層的な提供

○高齢者の在宅生活を支えるため、ボランティア、NPO、民間企業、社会福祉法人、協同組合等の多様な事業主体による重層的な生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築を支援

- ・介護支援ボランティアポイント等を組み込んだ地域の自助・互助の好取組を全国展開
- ・「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」の配置や協議体の設置などに対する支援



に移行されることが決まっています。このことは、今まで受けられていたサービスを受けることができなくなる可能性も

あり、今、元気な方も今後、あらたに要支援1・2程度になり、困ったときに介護保険サービスが使えなくなるかも知れないということです。

した。生活協同組合とは、困ったときに、みんなで協力して（お金を出し合い、できることをして）、助け合うという「協同互助」の精神に基づき、「ひとりではみんなのために、みんなはひとりのために」活動していく組織です。この間の高齢者を取り巻く状況、特に介護保険制度の動向を鑑みると、まさに、今、「人生の完成期、輝いて生きる」をスローガンに掲げ、地域づくりを進める、和歌山高齢者生活協同組合という組織が、力を発揮するべき時ではないかと考えています。

られています。ここで、高齢協の設立の理念に立ち返ってみると、当初掲げたスローガンは、「人生の完成期、輝いて生きる」です。これを実現するために、我々は「生活協同組合」という組織形態を選びま

組合員のみなさん、自分のできることで、困っている人のお手伝いをし、少し困ったなという時は、できる人に助けをもらおう。そんな、「お互いさまの助け合い」を広げていきませんか？いろいろなところに行って、楽しいイベントに参加し、勉強会に参加し、いろいろな人と知り合い、つながることが、その第一歩だと思います。つながれば、絆ができて、信頼関係ができるようになります。「お互いさまの助け合い」につながります。

組合員のみなさん、この秋に、一歩、外に出て、仲間を増やしましょう。

（事務局長 高林 稔）

変化への挑戦!

「広がろう、集まろう、つながろう。ポストの数ほど、つどい場、を」

本年度も、全国の高齢者生協の仲間と共に、秋の生協強化月間に取り組みます。

テーマは、「変化への挑戦!」。変化の一つは、2017年4月までに県内の全市町村で導入される日常生活支援総合事業です。この事業への準備は、既に各自自治体で始まっており、介護度の低い方は、介護保険サービスから外され、地域の助け合い活動(ボランティア活動)によって支えていくこととなります。私たちが取り巻く変化は、他にもあります。例えば、一人暮らしの高齢者が多くなっていること。平和への不安。南海東南海地震など災害への不安。年金がどんどん減らされていくという不安。

こうした変化に対して、「広がる、集まろう、つながろう。ポストの数ほど、つどい場、を」と呼びかけています。つどい場、は、組合員の皆さん、地域の皆さんが出会う場です。介護保険サービスから外さ

れた方の受け皿となつて、介護予防や健康づくりに取り組み場にもなります。ひとりぼっちの高齢者がいらつしやれば、足を運んでいただいたり、来れない場合は、困ったことを手助けしたり、安否の確認に取り組んだり助け合いの活動に取り組む場にもなります。元気な高齢者にも集まってもいただき、趣味を楽しんだり、経験や知識を活かして、地域に役立つ活動や仕事を生み出す場にもなります。また、平和の問題や防災の問題、介護や年金など、今どんなことが起こっているのか? どうしていけばいいのか? お互いに学び合い、解決のための方法を一緒に考え、行動を生み出す場にもなります。つどい場、は、サロンのなものでもいいし、組合員や地域の皆さんが出会う楽しいイベントであつてもいいし、思いを同じくする団体との交流の場であつてもいいと

思います。たくさんの方が出会い、高齢協の仲間が増えるような取り組みを、県内各地で、進めていきましよう。
秋の生協強化月間は、9月28日からスタートし、12月14日までを計画しています。ぜひ、多彩な、つどい場、を企画実践していただき、高齢協を実感できる場、高齢協の仲間の輪を、地域に広げていきましよう!
(専務理事 上森 成人)

変化への挑戦!

広がろう 集まろう つながろう
ポストの数ほど 'つどい場' を



高齢者生協 強化月間
2015年9月~12月

日本高齢者生活協同組合連合会

- 生活協同組合北海道高協 神奈川高齢者生活協同組合 兵庫県高齢者生活協同組合
- 青森県高齢者福祉生活協同組合 さくらいしニア生活協同組合 和歌山高齢者生活協同組合
- 岩手県高齢者福祉生活協同組合 茨城県高齢者生活協同組合 岡山県高齢者福祉生活協同組合
- 宮城県高齢者生活協同組合 茨城県高齢者生活協同組合 香川県高齢者生活協同組合
- 山形県高齢者福祉生活協同組合 三重県高齢者生活協同組合 高知県高齢者福祉生活協同組合
- 生活協同組合-さいたま高協 京都高齢者生活協同組合 福岡県高齢者福祉生活協同組合
- 生活協同組合-東京高協 大阪高齢者生活協同組合 生活協同組合-沖縄県高齢者協同組合

「数は力」、仲間を増やしましょう！

「数は力」この言葉の意味を、安保関連法案の強行採決の二ニュースを見たときに、痛感しました。良いことと感ずることとできればよかったです。が、もっと良いことで実感したいですね。先日、友人とこんな会話を交わしました。

高齡協では、「数は力」の良い例があります。先日、営業を開始した、「やまぐちおたっしや館」「れくらん(デイサービス)」がそれです。おたっしや館とれくらんについては、この間、建設資金の捻出のために、多くの組合員さんから、出資や貸し付けといった形で資金援助をいただきました。その総額は1億円を超えました。

「ちりも積もれば山となす」「千里の道も一歩から」昔から、いろいろな言われ方をしています。小さな力でも、積み重ねていけば大きなものを動かす力になるということなのです。

私たちの暮らしを守り、安心して暮らし続けられる地域を作るのも、こうした小さな力、一人一人が少しでもできることから始めていくことが大切だと思います。

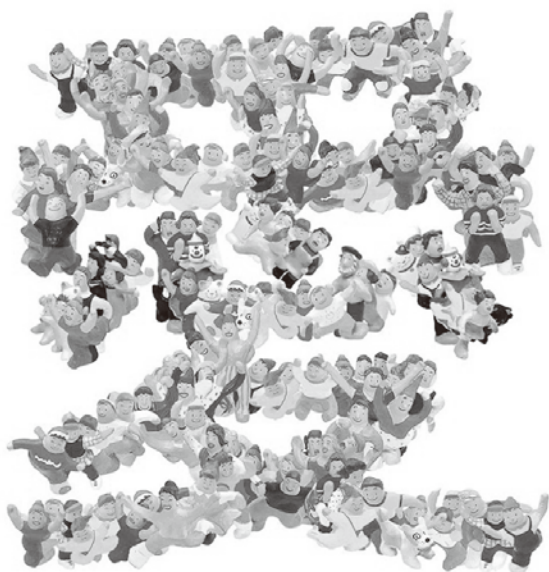
高齡協の組合員さんは、現在、3、700名を超えるに至っています。15年前の設立当初から見ると、大きく発展し、仲間も増えていきます。しかし、和歌山県の人口は約100万人、この内高齡者は30万人弱です。比率でいうと県全体の0.4%、県内高齡者の1.2%程度という状況です。どこかの話で聞いたことですが、地域や社会を動かそうとするとき、全体の3%の人を組織すると、少しずつ変わってくるそうです。高齡協も、和歌山の高齡者の中で「お互いさまの助け合いの地域」を作るためには、高齡者の

3%、約8、700名が必要です。一朝一夕には到達できるとは思えませんが、一人ずつ仲間を増やしていくことで、着実に近づいていくことができます。

日常の活動の中で、皆がうらやむような「お互いさまの助け合い」の活動が進められていけば、こちらからお誘いしなくても、仲間に入れてほしいといってきたくれるはずですし、「一緒に」の一言で仲間が増えていくに違いありません。

組合員みなさん、生協強化月間の今、地域の方々とながり、一人でも多くの仲間を迎えるよう、声掛けをお願いいたします。

(事務局長 高林 稔)



たくさんのご参加 ありがとうございました

九月一五日、一六日の二日間、第二九回日本高齢者大会が、和歌山市で開催されました。二日間延べの参加者は、全体で約四千五百名、和歌山県内の参加者は約一千名の中、高齢協からは、スタッフを含め六九名が参加しました。

「ひとしぼうちの高齢者をなくそう」「戦後七〇年」の二つの大きなテーマを掲げ、高齢協からは、「高齢者・障害者 共に生き共に輝く社会を」「協力・共同を広げる高齢期運動地域連絡会づくり」の分科会などに協力し、さまざまな「学び」と「交流」を深めました。

当日、田辺からバスで参加していただいたみなさんはじめ、県内各地から、参



大会二日目の、県民文化会館での様子



昨年の、夢いっぱい・秋まつりの様子

紀の川市 那賀事業所で 計画中

「夢いっぱい・秋まつり」
昨年、はじめて開催しました。今年も、地域の方々と楽しく交流したいと計画中です。

和歌山市内 山口地域で 実施予定

「人生の完成期を輝いて生きるための連続講座」
やまぐちささえ愛センターにて、十一月から二月にかけて、五回の講座を予定しています。

生協強化月間の 取り組みご案内

加していただいたみなさん、ありがとうございました。
ここで学んだ事、できたつながりを、今後の高齢協の取り組みに活かしていきます。
ましよう。
(常務理事 内田 嘉高)

橋本市 伊都・橋本 事業所で 実施しました

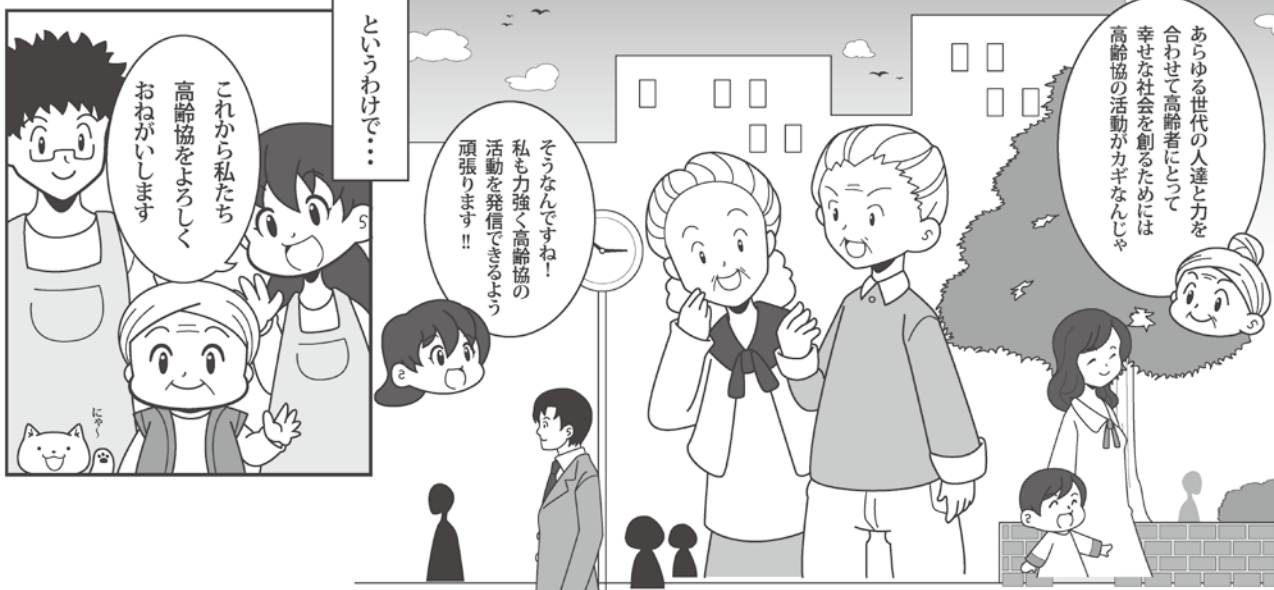
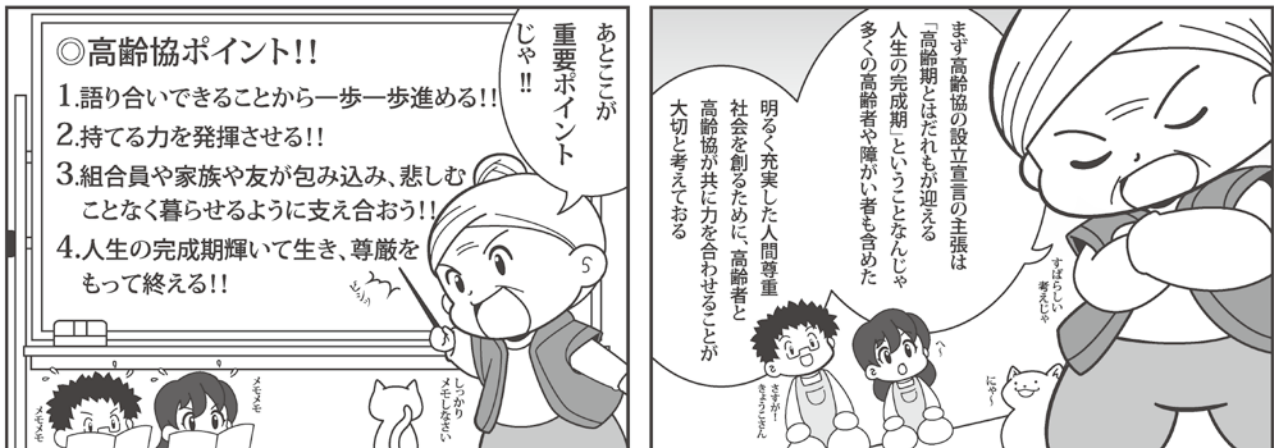
「温泉ツアー」
一〇月一六日(金)、毎年恒例になりました、事業所の利用者さんを中心に、温泉に入り、食事をとりながら、楽しく交流しています。

和歌山市内で 実施しました

「生協まつり」
毎年、市民生協さん、医療生協さん等が開催する企画に参加し、紀和庵の組合員さんの手作り品等の販売と、高齢協の宣伝をしました。



昨年の、生協まつりの様子



新規出資・増資申込書



和歌山高齢者生活協同組合 殿

私は、出資金を添えて申し込みます。

組合員 No. _____

<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 増資 <input type="checkbox"/> やまぐち特別出資 (1万円単位)		※太枠内のみご記入ください									
申込日	年 月 日	□数	□	出資額	百	十	万	千	百	十	円
フリガナ				生年月日	明・大・昭・平	性別					
氏名				年 月 日		男・女					
フリガナ											
住所	〒 _____ 番 _____ 号 _____ () _____										
趣味				資格・免許							
特技				勤務先	会社名： _____ 住所： _____						

アンケート

高齢協で興味ある分野、活動に○をつけてください



- 受けたいサービス
 - ケアセンターおたっしゃ倶楽部 おたっしゃ館 (高齢者住宅)
 - 成年後見サポート 営繕、送迎 葬送 生活支援
 - その他 (_____)
- メンバーに加わりたい活動
 - ケアセンターおたっしゃ倶楽部の職員 営繕活動、送迎
 - ほっとけやん倶楽部 (ボランティア登録) その他 (_____)
- 参加したい活動
 - ハイキング、旅行 パソコンサークル 市民農園 たまり場
 - 講演会、学習会 その他 (_____)

紹介・担当者	間柄	入金処理日	入力	発行	経理
		年 月 日			
メモ					



出資金預かり証



下記金額、確かに受領いたしました。

本証は、出資証券発行後は無効となります。それまでは大切に保管してください。

預かり者無記入のものは無効となります。

預かり日	年 月 日	□数	□	出資額	百	十	万	千	百	十	円
氏名				※預かり者 (紹介者)							
				氏名							

和歌山高齢者生活協同組合